



AGREA

WX220J 簡易操作説明書



◆ご注意

- (1) 本製品を分解したり改造することは、法律で禁止されていますので絶対に行わないで下さい。
- (2) 本製品の故障や誤動作、停電あるいは、天災などにより、本製品が使えなかったことによる付随的損害保証については当社では、一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承下さい。
- (3) 本製品を設置するための配線工事および修理は、工事担任者資格を必要とします。
無資格者の工事は違法となり、また事故の元になりますので絶対におやめ下さい。
- (4) 本書の内容につきましては、万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、販売店にお申し付け下さい。
- (5) 本書に記載されている内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (6) 本書に記載されている機能については、事前にプログラム設定が必要な機能がございます。
プログラム設定につきましては、販売店にご相談願います。

サクサ株式会社
お客様相談室



0570-001393

2007. 10. 16発行 V1. 0

1. 概要

AGREA(LT-900)に、Willcom端末「WX220J」を内線収容することで、社内では内線電話として、社外ではPHS網を使っての公衆端末として使用する事ができます。ここでは、LT-900に内線収容したときの使い方について簡単に記載します。

2. 各種モードについて

(1) 待受モード設定について

Willcom端末「WX220J」には、お客様のご使用環境に合わせて待受モードを選択することができます。

“公衆”、“オフィス”、“グループ”、“電話帳転送”、“公衆+オフィス”といった種類がありますが、LT-900に収容時は基本的に“公衆”、“オフィス”、“公衆+オフィス”の3つの中から選択することになります。公衆網契約がある場合は、“公衆+オフィス”モードを選択してください。

1. 公衆 : PHS網のみを使用する場合。(LT-900内線からの着信はできません)
2. オフィス : LT-900の内線端末として使用する場合。(PHS網からの着信はできません)
3. 公衆+オフィス: PHS網でも内線端末としても使用する場合。

●待受モード設定方法●

待受状態にて、

- ①“MENU” → “通信” → “待受モード”を選択。
- ②“1. 公衆”、“2. オフィス”、“3. グループ”、“4. 電話帳転送”、“5. 公衆+オフィス”の中から選択。

(2) 発信設定について

Willcom端末「WX220J」には、お客様のご使用環境に合わせて発信モードを選択することができます。

“公衆優先”、“オフィス、グループ優先”の2つの中から選択することになります。

1. 公衆優先 : PHS網を使って発信する場合。
2. オフィス、グループ優先 : 内線端末として発信する場合。(基本的にこちらを選択してください)

●発信設定方法●

待受状態にて、

- ①“MENU” → “通信” → “発信設定” → “3. 優先発信切替”を選択。
- ②“1. 公衆優先”、“2. オフィス、グループ優先”の中から選択。

注意) 待受モードが“公衆+オフィス”モードで、優先発信を設定しているモードが圏外のときは、一定時間が経過すると、優先発信に設定されていない方のモードに自動的に切り替わります。

(3) 着信について

着信については、各待受モードにあった着信となります。

1. 公衆 : PHS網の着信のみ。
2. オフィス : LT-900の内線端末としての着信のみ。別途、LT-900の着信設定が必要です。
3. 公衆+オフィス: PHS網でも内線端末としても両方着信。別途、LT-900の着信設定が必要です。

(4) 発信について

下記は、“待受モード”と“発信設定”をそれぞれ設定した場合、Willcom端末がどのような発信動作になるかを表にしたものです。十分に注意して、お客様のご使用環境に合わせて設定するようにして下さい。発信設定を設定しても、待受モードが“公衆”または“オフィス”の場合は、“待受モード”に依存します。



| 待受モード | 発信設定 | 発信動作 |
|------------|----------------|--------|
| 1. 公衆 | 1. 公衆優先 | PHS網発信 |
| | 2. オフィス、グループ優先 | |
| 2. オフィス | 1. 公衆優先 | 内線発信 |
| | 2. オフィス、グループ優先 | |
| 5. 公衆+オフィス | 1. 公衆優先 | PHS網発信 |
| | 2. オフィス、グループ優先 | 内線発信 |


3. 操作マニュアル

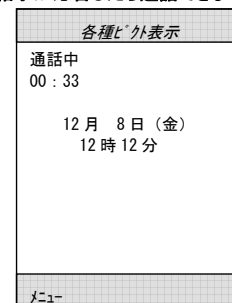
ここでは、代表的な使い方として、待受モードを“公衆+オフィス”、発信設定を“オフィス、グループ優先”に設定した場合について説明します。表示については、設定内容によって異なる場合があります。

注) ボタンイラストについては、若干異なっていますがご了承願います。

① 発信操作

●内線発信する


1. 相手内線番号をダイヤルする。
2.  ボタンを押下する。
3. 相手が応答したら通話できます。

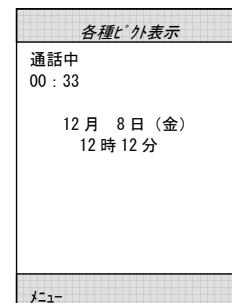


WX220J の表示

4. 通話が終了したら、 ボタンを押下します。

●LT-900の外線を使って発信する

1. 回線捕捉特番(初期値:0)をつけて、相手外線番号をダイヤルする。
2.  ボタンを押下する。
3. 相手が応答したら通話できます。



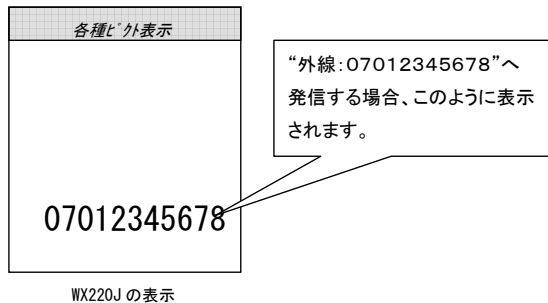
WX220J の表示

4. 通話が終了したら、 ボタンを押下します。

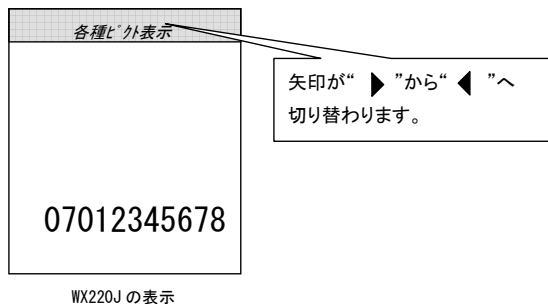
●一時的に発信モードを切り替えて発信する。(ここでは、オフィス優先モード使用時について説明)


待ち受けモードを「公衆+オフィス」に設定しているとき、一時的にモードを切り替えて発信することができます。
“公衆”または“オフィス”のいずれかのモードが圏外のときは切り替えることはできません。

1. 相手の電話番号を入力する。入力した電話番号が表示されます。



2.  キーを押す。ピクト表示部の“公 ▶  ”が“公 ◀  ”“抜きに切り替わります。
優先発信モードが一時的に切り替わります。

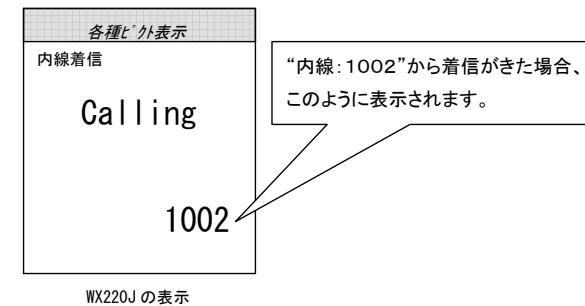




3.  ボタンを押す。相手が出ると通話ができます。

②着信操作

●内線着信に应答する

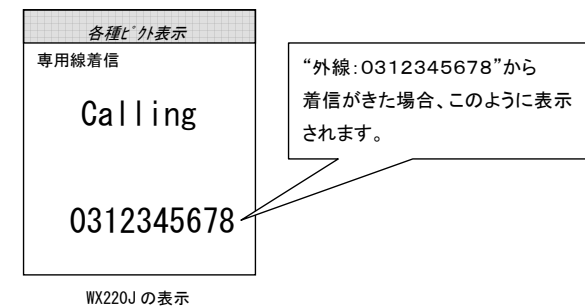
1. 内線着信が入ると、着信音が鳴りディスプレイに相手内線番号が表示されます。





2.  ボタンを押すと着信に应答します。
3. 相手と通話ができます。
4. 通話が終了したら、 ボタンを押下します。

●LT-900の外線着信に应答する (この機能を使用する場合は、あらかじめ工事設定が必要です)

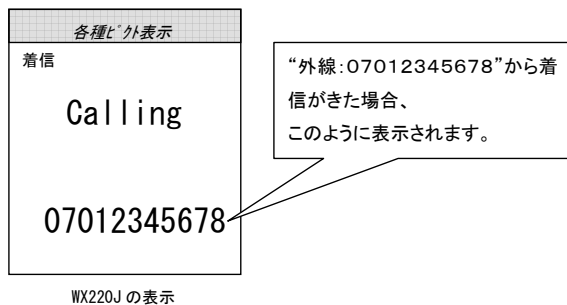
1. 外線着信が入ると、着信音が鳴りディスプレイに相手電話番号が表示されます。





2.  ボタンを押すと着信に应答します。
3. 相手と通話ができます。
4. 通話が終了したら、 ボタンを押下します。

●PHS網の外線着信に应答する

1. 外線着信が入ると、着信音が鳴りディスプレイに相手電話番号が表示されます。

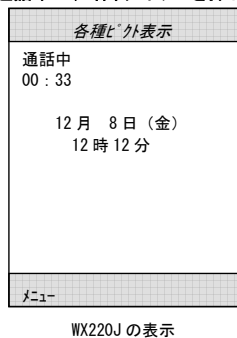


2.  ボタンを押すと着信に应答します。
3. 相手と通話ができます。
4. 通話が終了したら、 ボタンを押下します。

③保留操作

●通話を保留する

1. 通話中に、“保留”ボタンを押します。通話相手に保留音が流れます。

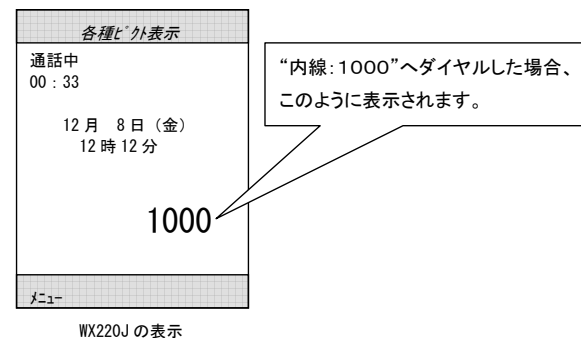


2. 保留を解除するには、“保留”ボタンを再度押します。
3. 保留が解除され、通話に戻ります。



④転送操作



●通話を他の電話機に転送する（この機能を使用する場合は、あらかじめ工事設定が必要です）

1. 通話中に、“保留”ボタンを押します。通話相手に保留音が流れます。
2. 受話口より、“ツーツウ…”という音が聞こえます。
3. 転送先の内線番号をダイヤルします。




4. 相手に応答したら、転送することを伝え、 ボタンを押します。

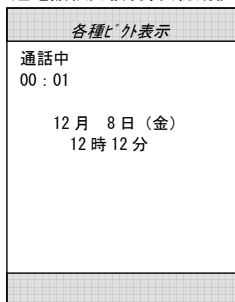
※転送先の相手がお話中の場合や応答しない場合は、 ボタンを押してしばらくすると着信がかかりますので、 ボタンを押すと元の通話に戻ります。

※転送しようとした相手に応答した後、転送をしないで元の通話に戻るには、相手終話後  ボタンを押してしばらくすると着信がかかりますので、 ボタンを押すと元の通話に戻ります。

⑤より便利に使う

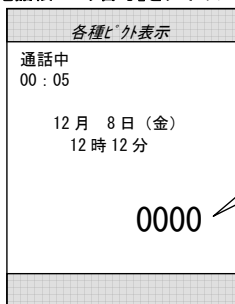
●LT-900のシステム電話帳を利用して外線発信する

1.  ボタンを押下する。
2. 共通電話帳発信特番(初期値:6)をダイヤルする。



WX220Jの表示

3. 「電話帳メモリ番号」をダイヤルする。



WX220Jの表示

“メモリ番号:0000”へダイヤルした場合、

4. 相手が応答したら通話できます。
5. 通話が終了したら、 ボタンを押下します。

●パーク保留を使用する（この機能を使用する場合は、あらかじめ工事設定が必要です）

パーク保留を利用すると、どの内線電話機からも保留した通話に応答することができます。

1. 通話中に、“保留”ボタンを押下する。通話相手に保留音が流れます。
2. 受話口より、“ツウーツウ・・・”という音が聞こえます。
3. 近くの多機能電話機で、パーク保留ボタンのランプが消灯していることを確認します。
4. パーク保留特番(注1)をダイヤルすると、パーク保留になって受話口からの呼び出し音“ツウーツウ・・・”が聞こえます。

5.  ボタンを押下します。

- 注1)パーク保留特番は、システム管理者に確認してください。
注2)パーク保留がすでに使用されているときは、パーク保留が解除されて別の電話と通話状態となりますのでご注意ください。


パーク保留特番

パーク1:

パーク2:


パーク3:

●パーク保留している通話にでる（この機能を使用する場合は、あらかじめ工事設定が必要です）

1.  ボタンを押下する。
2. パーク保留特番をダイヤルする。
3. パーク保留された通話に応答し、通話状態になります。

●代理応答する

代理応答機能を利用すると、他の電話機への着信に応答することができます。

1.  ボタンを押下する。
2. 代理応答特番(注1)をダイヤルする。
3. 他の電話機の着信に応答し、通話状態になります。

代理応答特番

- 注1)代理応答特番は、システム管理者に確認してください。